

SFC 研究所所長 殿

## SFC 研究所ラボラトリ年次活動実績報告書

ラボ名称	イスラーム研究・ラボ					
ラボ代表者	氏名	野中 葉	所属	総合政策学部		
ラボ設置期間	2013年10月1日		～	2022年9月30日	9	年間

<b>ラボラトリの学外研究拠点</b> ※学外の拠点で活動している場合、その詳細を記載ください。	
名称（例：東京〇〇ビル）	所在地（例：東京都〇〇区〇〇1-1-1 5F）

<b>構成メンバー（提出時点）</b>		
氏名	所属・職位	役割
野中葉	総合政策学部准教授	全体統括、イスラーム地域研究（主にインドネシア、日本）
廣瀬陽子	総合政策学部教授	コーカサス地域研究
山本薫	総合政策学部専任講師	アラブ中東地域研究
國枝美佳	総合政策学部専任講師	アフリカ地域研究
アフマド・アルマンズール	総合政策学部訪問講師（招聘）	イスラーム基礎研究
稲垣文昭	秋田大学教授	中央アジア地域研究
佐野光子	SFC研究所上席所員	アラブ映画研究
ハディ・ハーニ	東京理科大学助教	パレスチナ地域研究
兼定愛	同志社大学一神教学際教員センター特別研究員	イスラーム基礎研究
サラ・クレシ好美	政策・メディア研究科博士課程	日本のムスリム2世研究
鈴木大樹	SFC研究所上席所員	日本のムスリムに関わる法整備研究

## 年次活動実績報告

研究活動報告（設置申請書，継続申請書の研究活動計画と対比するように記載してください。）

### 〔イスラーム基礎研究〕

①ハラールとハラーム及び関連する諸概念について、また②マイノリティとしてのムスリムの宗教実践について、啓示を含めた文献調査による整理、考察。

### 〔イスラーム地域研究〕

研究拠点の構築及び拠点間のネットワーク化を図りながら、ハラールとハラームおよびその関連の事象・事項にかかわる、国内外で調査の継続、調査結果を蓄積することを目指している。2021年度は、2020年度に引き続き、コロナの影響が大きく、海外との往来はほぼストップし、海外からの来日、また日本からの渡航が全くできない状況で、ムスリム観光客やムスリム観光客向けサービスに関する調査活動や、海外研究拠点に出向いての研究活動は行えなかった。その一方で、調査対象を日本に暮らすムスリムに絞り、有意義な調査、活動を実施することができた。実施した調査（担当者へのインタビューおよび活動への参加・参与観察）は、以下の通り。

①全国各地のモスク調査、モスクおよびイスラーム関連の諸機関とのネットワーク構築。

名古屋モスク（7月3日）、岐阜モスク（7月4日）、茨城古河モスク（7月20日）、東京インドネシアモスク（9月15日）、東海モスク（10月11日）、海老名モスク（10月11日、3月17日）、横浜モスク（10月24日）、大塚イスラミックスクール（11月19日）などを訪問、関係者へのインタビューを実施。

②ヤングムスリムたちとのネットワーク構築。日本に暮らすムスリムを取り巻く課題の抽出。

学部の野中葉研究会「ムスリム共生プロジェクト」の研究活動と連動し、ムスリム2世を中心とするヤングムスリムたちの活動やコミュニティ形成、課題を明らかにするため、7月2日に名古屋モスクにて、同モスクを拠点に活動するヤングムスリムグループ（YSM）メンバーとの交流、聞き取りを実施。さらに、11月19日には大塚イスラミック・スクールにて、学部研究会の学生たちがムスリム小学生に向けて出張授業を提供、先生たちへの聞き取りを実施。

③国内ムスリムの喜捨を通じたコミュニティおよびネットワーク調査。

モスクの活動支援およびネットワーク構築を目的に、大塚モスクにて7回、「Food Drive」を実施（5月8日、6月26日、7月24日、10月9日、11月27日、12月18日、2月26日）、ムスリムの喜捨に関する情報を、実際の現場から得ることもできた。地域住民やモスクを利用するムスリムから回収した食料は、近隣のNPOなどを通じ、子ども食堂や生活困窮者に提供した。この活動を通じ、大塚モスクのムスリムコミュニティとの連携を深め協働が実現したほか、シャンティ・ボランティアの会、ぶどうの枝、要町あさやけこども食堂など、いくつものNPOとも連携することができた。

研究成果（学術論文、著作物、メディア露出等）

【主な出版物】

- ・ Nonaka, Yo, "Pursuit of Decent and Natural Beauty in Accordance with Islamic Norms: The Boom of Halal Cosmetics in Indonesia", Goto, Emi and Chika Obiya, eds. *Created and Contested - Norms, Traditions, and Values in Contemporary Asian Fashion*: 93-113, Tokyo: ILCAA, 2022.
- ・ 野中葉「宗教と衣服」 蘆田裕史・藤嶋陽子・宮脇千絵『クリティカル・ワード ファッションスタディーズ：私と社会と衣服の関係』149-155、フィルムアート社、2022年。
- ・ クルアーン日本語読解製作委員会、ハディハーニ、アーディル大木博文、アルマンスール・アフマド、アハマド前野直樹、兼定愛、西田今日子（共訳）『クルアーン 日本語読解』東京ジャーミイ出版会、2022
- ・ ハディハーニ、「「ムスリム・シオニスト」が投げかけるもの：パレスチナ問題の現状認識と二項対立の罫」、『一神教学際研究』、同志社大学一神教学際研究センター、No. 17, pp. 39-59、2022
- ・ 野中葉「日本に暮らすムスリムと大学生たちの協働—大塚モスクにおけるフードドライブの実践」『Mネット』219: 32-33, 2021年12月号
- ・ Nonaka, Yo, "Practising Sunnah for Reward of Heaven in the Afterlife -The expansion of cadar wearing among urban Muslim women in Indonesia", *Indonesia and the Malay World*; Vol 49 Issue 145: 429-447, 2021

【主な口頭発表／依頼講演】

- ・ (Invited), Nonaka, Yo, "Muslim dan Warga Negara Indonesia sebagai "New Comers" di Jepang (日本における「ニューカマー」としてのムスリムとインドネシア人)", Webinar series #1 "Islam dan Jepang", Departmen sastra Jepang UNHAS, March 11 2022.
- ・ Abdelhadi, Hani. "Rethinking the Principle of National Self-Determination: Toward a New Approach for the Question of Palestine." *The Asian Conference on Ethics, Religion & Philosophy, International Academic Forum*, March 2022.
- ・ (依頼講演) アフマド・アルマンスール、「イスラーム講座」シリーズ、東京ジャーミイにて毎月第二土曜日開催。
- ・ (依頼講演) 兼定愛「アラブ世界の現代的説教師現象と大衆向けイスラーム書籍：現代人の心に届く説き方の探究」、日本ムスリム協会「3月のイスラーム教養公開講座」、2022年3月6日
- ・ (依頼講演) 兼定愛「イスラームにおける悲しみとの向き合い方」、東京ジャーミイ「特別公開文化講座」、2022年2月26日
- ・ 野中葉「マジカル・イスラーム」と現代インドネシアのムスリム社会 —フェビー・インディラニが描く危機感と希望」中東現代文学研究会1月定例研究会@京都大学、2022年1月9日
- ・ 野中葉「インドネシアのハラール化粧品」第3回横浜市立大ジェンダー研究会「イスラーム世界の女性たちと日々の生活：結婚・装い・美容」（オンライン）、2021年12月26日
- ・ Ahmad Almansour, "Remembering Islamic Economics and its Significance During Pandemic", presented at the Second International Conference on the Memory and Past of South Asia, Soka University, November 26-27, 2021
- ・ (Guest Speaker) Nonaka, Yo, "Muslim and Indonesian People as New Comers in Japan: Some issues and Consequences", presented at Media and Intercultural Communication, International Class Program in Department of Communication, Faculty of Social and Political Sciences, University of Indonesia, October 27, 2021.
- ・ (Guest Speaker) Nonaka, Yo, "Religion and the Society: A Comparative Discourse of Islam in Indonesia and Japan", presented at Webinar Kuliah Tamu di Fakultas Ilmu sosial dan Ilmu politik, Universitas Diponegoro, October 14, 2021.
- ・ (Invited) Nonaka, Yo, "Faith dan Dress: Makna pakaian demi Tuhan (信仰と装い—神のための服装の意味)" presented at Webinar Muslim Fashion Week: Meningkatkan Personal Branding di Era Global Melalui Sertifikasi Profesi Fashion Designer, by Islamic Fashion Institute and Departemen Ekonomi dan Keuangan Syariah, Bank Indonesia, October 13, 2021.
- ・ Nonaka, Yo, "The Halal Cosmetics Boom in the Modern Muslim Society of Indonesia", presented at the panel "Religiosity in Modern spaces. Perspectives from Asia and Africa: Religion and modernity" in the 12th International Convention of Asia Scholars (ICAS) (online), Aug 28, 2021.
- ・ (Guest Speaker) Nonaka, Yo, "Muslim dan Isu halal di Jepang (日本のムスリムとハラール問題)" in Focus Group Discussion on Potential Market for Indonesian Halal Products in Japan, organized by Bank Indonesia Tokyo, Aug 25, 2021.
- ・ (依頼講演) ハディハーニ、「パレスチナ問題入門：歴史・現状・向き合い方」東京ジャーミイ特別公開文化講座、2021年7月24日
- ・ (Invited) Nonaka, Yo, "Studi Halal di Jepang (日本のハラール研究)", presented at Webinar "Riset Halal sebagai Pendukung Pemulihan Ekonomi Nasional dan Dunia", by Pusat Kajian Halal ITB, July 3, 2021.
- ・ (依頼講演) 野中葉「日本で暮らすムスリムの日常」AFS関東支部オンライン講演会、2021年6月18日

【メディア露出（大塚モスクのフードドライブ実施関連）】

- ・ SFC Review 72号（2021.12.31発行）「食×研究会 野中葉研究会「フードドライブ」」
- ・ 東京新聞「Tokyo発 地域と生きるモスク in 豊島区」（2021年10月25日）。
- ・ NHKおはようっぽん「広がる困窮家庭への食材支援」（2021/6/2）
- ・ NHK World Japan, "My 'Jihad' - Helping People in Need", (2021/5/21)